

2023年8月17日

ASIA GATE VIETNAM CO., LTD.

豊田英司

ベトナムで人事労務のアドバイス、進出時の行政手続き代行、そして現地でのビジネスのサポートをしております、アジアゲートベトナムの豊田と申します。

今回もベトナムにおけるビジネス情報を寄稿させていただければと思います。

=====

【景気動向】

今年に入ってから、欧米各国のインフレに起因した買い控えにより、ベトナムからの輸出量が低下し、（特に繊維業や靴、鞆、スマートフォンなど）、また、ベトナム国内の不動産売買の低調を受けることから、国内景気はコロナ後に経済が急回復した昨年と比べると、あまり良くない状況にあると一般的には受け止められています。

例えば、民間調査会社 Infocus Mekong Research が実施した調査によると、ベトナムの消費者信頼感 は 2022 年 7 月の 63 ポイントから 1 年後の 2023 年 6 月には 54 ポイントにまで急落しました。

そんな中、ベトナム政府は景気回復策として多くの製品やサービスを対象に日本の消費税にあたる付加価値税（VAT）を 10% から 8% に引き下げたり、公定金利の引き下げを行ったりと消費喚起策を施しています。

こういった効果も出ているのか、GSO（ベトナム統計総局）発表の 2023 年 7 月の小売・サービス売上高は前年同月比で 7.1% の増加、1 月～7 カ月の合計においては前年同期比 10.4% 増加と内需の堅調な回復ぶりを示しています。

【2023 年 7 月の小売・サービス売上高】

	7 月の前年比	7 ヶ月間合計の前年比
小売	+7.0%	+9.0%
宿泊・飲食	+5.7%	+16.3%
旅行	+6.5%	+53.6%
その他	+9.6%	+13.8%
合計	+7.1%	+10.4%

参照：ベトナム統計総局資料

こうしてみると、ベトナム国内や日本の新聞での報道でベトナムの不動産バブルの崩壊や輸出産業不振による失業者増加がセンセーショナルに報じられていますが、全体としての消費は堅調でベトナム経済が引き続き成長している姿が見えてきます。

【生産拠点としてのベトナムの変化】

ベトナム計画投資省の発表によると、年初から7月20日までに認可された外国直接投資（FDI）金額の合計は162.4億米ドルで、前年同期比で4.5%と堅調に増加しており、国・地域別ではシンガポール（43.0億米ドル）からの投資が最も多く、韓国（32.6億米ドル）、中国（13.1億米ドル）が続いています。

シンガポールからの投資の中には中国企業のシンガポール子会社からの投資も多く含まれていると言われ、実際には中国からの投資額は相当に多いと思われます。

下記はベトナム税関総局発表の2023年の貿易量ですが、輸出相手としてはアメリカがトップ、そして輸入相手としては中国が45%弱と非常に大きくなっています。

【2023年の7ヶ月間におけるベトナムの貿易相手と貿易額】

輸出 (export)			輸入 (import)		
相手国	額 (百万ドル)	割合	相手国	額 (百万ドル)	割合
USA	53,096	37.6%	CHINA	58,656	44.8%
CHINA	30,844	21.8%	KOREA	28,425	21.7%
EU	25,318	17.9%	ASEAN	23,390	17.9%
ASEAN	18,841	13.3%	JAPAN	11,863	9.1%
KOREA	13,175	9.3%	EU	8,456	6.5%

参照：ベトナム税関総局資料

現在、経済面では米中の経済摩擦によって中国で生産された製品に対する輸入制限や関税増加などの措置が部分的に行われ、それを回避する目的もあって中国本土からベトナムへの生産移管が非常に激しくなっています。

もちろん、中国の工場労働者の人件費は概ねベトナムの2倍程度となっていますので、経済摩擦がなくとも中国からのベトナムへの生産移管の増加は「不可避」と考えられます。

その象徴として、中国に近いベトナム北部の工業地帯へのアップル社製品の製造工場の相次ぐ進出や増産が連日、報じられています。

ただ、生産工場をベトナムに移管しても、部材メーカーの多くはいまだに中国本土に多く存在しており、ベトナムでは調達できないので、中国から部材を大量に輸入

し、完成した電子機器、電化製品をベトナムから米国へ輸出するという構図になっています。

2000年代前半以降、「安い労働力と安い土地が入手できる理想の製造拠点」としてベトナムに続々と進出してきた日系企業にとっては、中国系企業のベトナムでの大量の設立によって人件費向上、工場要地の高騰などの影響がすでに出ており、今後もこの傾向は続くと思われます。

ベトナムでの製造拠点設立、そしてベトナムから日本へ招聘している技能実習生に対するコスト面での考え方を大きく変えていく必要があるかと思えます。

今回は以上となります。

豊田英司

<https://www.asiagate-vietnam.com/>

参考 WEB サイト

<https://www.gso.gov.vn/en/homepage/> (ベトナム統計総局)

<https://www.gdt.gov.vn/wps/portal/English> (ベトナム税関総局)